

# 石薬師小体育館が 改築完成

## あと3校も早期改築を (牧田、河曲、庄野)



改築された石薬師小体育館

2020年度から4年間で、行なう予定だった学校トイレの個別改修工事が、今年度へ2年前倒しされ、予定された14校すべてが完了します。

その他の学校は、21年度以降の校舎の「長寿命化改修事業」計画の中で、トイレ洋式化を進めることとなります。

### 学校トイレ洋式化の 個別改修は今年度完了に

学校トイレ洋式化・個別改修実施の学校

2020年度完了(6校)

神戸小、桜島小、明生小、  
箕田小、栄小、鼓ヶ浦小

2021年度工事(8校)

清和小、稲生小、郡山小、  
井田川小、鈴西小、  
鼓ヶ浦中、鈴峰中、創徳中



老朽化のため改築工事が行われていた石薬師小の体育館が3月に完成、旧館より1・8倍も広い立派な体育館になり、喜ばれています。一方、石薬師小とほぼ同時期に建てられた鉄骨造の古い体育館、牧田小、河曲小、庄野小の3校が、次の改築を待っています。

しかし市教委の改築計画では牧田・河曲は23・27年度、庄野はさらにその先という予定になっています。子どもたちにガマンを強い、計画の先送りではなく、改築のスピードアップが求められます。

「核兵器禁止条約」が、本年1月に発効しました。この条約は2017年に国連で、122カ国の賛成で採択され、その後各国で批准がすすみ、現在54カ国になっています。この条約発効により、国際法として核兵器の開発・保有・実験・使用・威嚇等が禁止され、核兵器は道義的にも法的にも許されなくなりました。

石田秀三議員は一般質問で、1985年に「非核平和都市宣言」を行なった鈴鹿市の市長として末松市長に、この条約へ賛同する態度表明を求めました。

末松市長は「本市の非核平和」

# すずか 民報

第160号  
2021年5月

日本共産党  
鈴鹿市議団  
市議会報告

### 核兵器禁止条約の発効は「重要な一歩」

#### 末松市長が「非核平和宣言」都市としての見解

和都市宣言にもあるように、世界の恒久平和は人類共通の願いです。このたびの核兵器禁止条約の発効は、核兵器のない世界を実現するための大きな意義のあることであり、非核平和宣言自治体としても、核兵器の廃絶に向けての重要な一歩となりました。と答えています。

イベントや広報で市民に啓発する

石田議員は、日本政府がこの条約に「署名も批准もしない」態度をとっている中で、広島・長崎を先頭に全国の自治体が非核平和の取り組みを進めていくことが大事だと述べ、鈴鹿市でも様々な行事や広報などで条約の内容や意義を紹介し、市民に向けて理解を深める取り組みを行なうよう求めました。担当部長は、市として毎年行っている「平和への祈り展」などで、条約について



石田 秀三 市議

啓発を行なっていくと答弁しました。



非核平和都市宣言の看板

### 紙おむつ支給、「在宅」 でなくても続けて

鈴鹿市では「在宅」で「要介護3」以上・非課税の方に、紙おむつを支給しています。しかし本人が入院した場合、高齢者施設に入所した場合はストップとなり、家

族がおむつ代を負担します。(特養・老健施設では介護保険の対象となるが、その他は自己負担)

石田議員は、入院・入所になっても紙おむつ支給または助成を行なうよう求めました。2005年の介護保険改悪によって、施設入所の居住費・食費が介護保険から外され、本人と家族の経済的負担が格段に重くなり、「在宅に限る」支援が実情に合わなくなっています。

石田議員は、せめて月5千円・1万円のおむつ代助成を検討することを求めました。

### コロナ感染くい止めるには 検査の徹底と、 ワクチン接種いそげ

新型コロナウイルス感染が1年以上たっても収まらず第4波が拡大、鈴鹿市でも感染者は増え続け5月8日現在671人と、四日市市に次ぐ多さです。5月9日から「まん延防止等重点措置」適用となり、市民生活への影響もいっそう深刻になっています。

### PCR検査拡充を抑えた、 厚労省の内部秘密文書

昨年5月に厚労省は内部文書で「広範な検査を実施

すれば『偽陽性』が非常に多くなり、医療崩壊を招く」とウソの説明、政府としてPCR検査拡充の動きを抑えていたことが、最近明らかになりました。そのまま政府は「検査と隔離」を怠り続け、日本の人口比PCR検査数は「世界146位」と最下位クラスです。これが感染拡大を止められなかった大きな理由です。

いま必要なのは、本気で大規模なPCR検査を、遅れているワクチン接種と並行して進めることです。



## 高くても払えない国民健康保険料、「均等割」引き下げて

値上げ後5年で基金に貯めこんだ13.5億円、市民に還元して

国民健康保険は自営業、非正規やパート、年金受給者など所得の低い方が多く加入していますが、家族が多いほど保険料が高額になります。所得割に加えて他の健保にはない「均等割」＝世帯人数×1人4万円という保険料が、収入のない子どもにまでかけられます。鈴鹿市は、平成28年度に

子どもにもかける「均等割」保険料なくそう

## 高齢者の耳の検診、補聴器購入への助成を



2月議会的一般質問で高橋さつき議員は、耳が遠くなっても生活の質を落とさず、心豊かに暮らせるように、「加齢性難聴」への補聴器購入の助成や行政のサポートを求めました。

### 65才以上の半数が「加齢性難聴」

国立研究機関の調査では「65歳以上の約半数の方が難聴」といわれています。難聴は、人の話すことが分からず聞き返したり、とんちんかんな返事をしたり、

早期の検診と補聴器使用をすすめて

WHO（世界保健機関）は、聴力が中等度難聴の41デシベルの「ちよつと会話が聞こ

えにくくなった」というレベルからの補聴器使用をすすめています。しかし多くの高齢者が困っているのに、高価なため補聴器の使用は日本ではわずか14%、欧米諸国の2分の1、3分の1という状態です。この2年ほどの間に127の地方議会で「高齢による難聴の補聴器の助成」を求める意見書が採択され、20以上の自治体で助成が広がっています。

高橋議員は、鈴鹿市も子育て支援の観点からも積極的に取り組むことを訴えました。しかし末松市長は、コロナ

の影響で保険料収入の見通しが立たない、国保運営が県一本に広域化されたことをあげ、市が独自に減免を実施するのは難しいと答えるのみでした。

## 介護保険料

### 第8期（3年間）は据え置き

今年度から3年間の介護保険の事業量及びサービスの供給量確保のための方策である「第8期介護保険事業計画」で、介護保険料が決定しました。「介護給付準備基金」残高20億円のうち、12.5億円を取り崩し、第7期の基準額月額5,782円と同額の据え置きとなりました。



高橋さつき 市議

## オリンピック「開催すべき」は20% 白子駅前シール投票の結果

5月3日、憲法記念日の午後、市民運動団体が白子駅前行なつたシール投票の結果です。「オリンピックは予定どおり開催すべき?」  
◎開催18人、◎再延期51人、◎中止19人



市民運動団体の白子駅前シール投票

## 地域包括支援センター 8カ所に増設

高齢者が住み慣れた地域、住まいで安心して暮らせるよう、介護サービスや支援・相談等がしやすいよう、地域包括支援センターの体制が強化されます。



心となる基幹型地域包括支援センターを設置し、地域包括支援センターは鈴鹿市では4か所から8か所、亀山市は2か所に増設となりました。各地域で住民からのどんな相談にも気軽に対応できるセンターになることが期待されます。